



第53回TPKF単立ペンテコステ大会 (2016.5.3-5 横浜研修センター)

「聖霊と私」

秦野クリスチャンセンター 稲葉基夫

小学3年生の時に私はイエス様に出会った。父なる神様の御愛、イエス様の十字架による救い、罪のゆるしが与えられたことと共に印象に残っている光景があります。

教会学校が終わったあとも教会に残っていた私は、先生や姉妹たちが礼拝前にひざまづいて主に祈っている姿を見たのです。その言葉に表せないような聖別された時、空間で、日本語の祈りだけでなく聖霊の賜物による異言で祈っていました。当時の私にとっては一体何なのだろうかと思いましたが、嫌なことではありませんでした。救われた時に感じた主の愛を同じように感じたからです。ですから分からないながらも、特別なことはありませんでした。

自分自身も同じように異言が与えられたいと願ったのは、もっと後の中学生の頃のことです。求めていた時に、主の導きのなかで異言が与えられました。それは私にとっ

て主とのより深い交わりを与えるものでした。賛美のなかで、祈りのなかで、日々歩むなかで、主が共におられることをはっきりと味わうことができました。

そのような恵みのなかで歩んできましたが、やっと自分自身に向き合ったのはつい最近のことだと思います。主が教えてくださったのは、本当に自分自身がとるに足りない者で、どれだけ多くの人の重荷となっていたかということでした。私の信仰生活は、決して人に誇ることができないようなものです。

多くの人たちの愛とゆるし、何よりもこんな私を忍耐深く守り、変わらずに恵みをそそいでくださった神様の愛とあわれみを祈りのなかで教えられました。

主が私を立たせてくださって、過去の自分にとらわれることなく、前を見て歩みだすことができます。神様と私達と唯一の仲介者であるキリスト・イエスがおられるからこそ主の働きをさせていただいています。聖霊は私にとって主との交わりをさらに深くしてくださる本当の永遠に変わることはない助け主であることを感謝致します。

第53回 T P K F 大会メッセージ要約

聖会 ① 御殿場純福音キリスト教会 中見透先生

「ともに祈る時」使徒 2 章 1 節

120 名の群れはともに集められ祈っていた。彼らはイエス様にどんなときにも愛された（ヨハネ 13：1）。それはよみがえられた後も同じであった。イエス様はご自分を 3 度否んだペテロに対して、「わたしを愛するか」と 3 度問われペテロを癒され、トマスが見なければ信じないといったとき復活の主はご自分をトマスに表された。弟子たちが何も取れず漁から帰ったとき炭火とパンと魚を用意され、愛を示された。

そんな弟子たちはイエス様の約束の言葉を信じて共に集まり祈っていた。すると突然天から聖霊が弟子たちに臨まれ、彼らは聖霊に励まされて前進した。日本のプロテスタント宣教の始まりも同じである。

ヘボン博士は大学時代に祈り会で聖霊に触れられ世界宣教に燃え、ペリー監督の書いた本を通して日本開港を知り病院自宅をすべて売り払い 1859 年に横浜港に来日。横浜海岸教会で J・バラ宣教師は、夢で危険の迫る羊を置いて寝ている姿を見せられ、悔い改め、数人の船員とともに祈り会を始め、聖霊の火は臨み全国に飛び火していった。

北アイルランドの J・マックキルケンは自分が救いに導いた 2 人とともに祈り会を続けていた。そこに聖霊の火は臨み、10 万人が救われ大リバイバルとなった。

聖会 ② 岐阜純福音教会 小山大三先生

「宣教の力、聖霊の満たし」ルカ 22 章 21 節～26 節

私達が神様に用いられるために経験しなければならないこと。

1 番目は「自分の弱さを知る」こと。私たちは福音を述べ伝えるため、まず自分がどんなに罪深いものであり、どんなに醜いものであり、自分に十字架が必要であることを徹底的に知らなければならない。

2 番目に「聖霊の満たし」イエス様は「全世界に出て行って福音を述べ伝えなさい」と言われたがその前に、「エルサレムを離れないで私から聞いた父の約束を待ちなさい。」（使徒 1:4）と言われた。弟子たちは言われた通り、エルサレムにとどまった。しかし、彼らはただ待っていただけではなく、心を合わせ祈りに専念していた。

そしてその約束通り、聖霊様がぐだり、弟子たちは聖霊様に満たされ、力を受けて福音を述べ伝えに出ていった。

聖霊様に満たされ、聖霊様によって歩むとき、聖霊様の働きを見ることができる。

聖霊様の満たしの 7 つの祝福として①霊の解放と自由が与えられる ②賛美の解放が起こる ③愛の解放が起こる ④十字架の理解が深められ、信仰が促進され、より聖い生活へと導かれやすくなる ⑤霊的な束縛と病からの解放を与えてくださる ⑥霊的な一致が与えられる ⑦御霊の賜物の解放が与えられる。

神様に用いられるために、「自分の弱さを知る」と同時に、「聖霊様に満たされること」を切に求め続けなければならない。そして、今回のテーマ「和」とあるように、教会として一つになって大宣教命令を実行していくものでありたい。

聖会 ③ 京都キリスト福音教会 置田信也先生

「神の和、人の和」使徒 2 章 1 節

イエス様が天に帰られた後、弟子たちは 10 日間一緒に祈り続けた。なぜ彼らは祈り続けることができたのか。

1 番目は彼らが「復活のイエスに出会った」こと。イエスは苦しみを受けた後 40 日間地上におられ、神の国のことを語り、数多くの確かな証拠をもってご自分が生きていることを使徒たちに示された（使徒 2:3）そして、その経験の中で、彼らに「イエスはキリストである」こと。そして「イエスの十字架は私達のための神の御業であった」という強い確信が生まれてきた。

2 つ目は彼らに「迫害の危機があった」こと。このとき弟子たちには、自分たちもユダヤ人の宗教指導者たちに捕らえられるかもしれないという危機感があった。イエス様を信じて、問題や課題、危機が目の中にある場合がある。しかし、それらは自分の手に負えない問題や課題を目の前にして主により頼むためにある。人は自分でできることは自分でしてしまう。神様はもっと信頼して頼ってほしいと願っている。

私達は足りなさや必要を感じて祈り、神様が働いてくださることを体験するとき、他の人に対して信仰を明らかにしていこうと願うようになる。私達は教会の外に出て友人と良い関係を築き、彼らが不足や必要を感じたらできることをしていくものでありたい。私たちの内側に聖霊がおられて宣教の働きを前進させてくださる。

TPKF大会報告

第53回 TPKF 単ペン大会のご協力を感謝します。

今年は、ゴールデンウィークに横浜で開催されました。全国から二百名ほどの兄弟姉妹が一つになって共に集まり、共に祈ることは、なんというしあわせ、なんという楽しさ、「主がそこにとこしえの祝福を命じられたから」という3日間でした。

使徒 2:1 「ペンテコステの日になって、みなが一つ所に集まっていた」という箇所から「和」というテーマで、祈りが中心となりました。

TPKF 議長の中見師が、「神は共に集まり、祈ることを願っておられます。」とメッセージされましたが、単ペン大会は宣教師たちが共に集まり祈ったことがはじまりでしたので、そのような意味で原点回帰となったと思います。

三日間、早天祈祷会、全体祈祷会、年代別祈祷会と祈りの交わりができ、フェロシップの意義を感じました。

TPKF 三役、中見透師、小山大三師、置田信也師のメッセージは、まさに現在の TPKF 諸教会に必要なメッセージでした。(CD は宣教メディアにお問い合わせください。) 三

世代の祝福ということで、今年もキッズもユースも開催されました。

今回、はじめてツアーも企画させていただきました。コースの一つ横浜歴史探訪では、日本におけるプロテスタント最初の教会、海岸教会で祈る時を持ちました。

「泣くのも悲しむのも上から聖霊が臨まれるまで」(イザヤ 32:15) という元始聖句の碑は、まさに聖霊の恵みに生かされている TPKF の諸教会に対するチャレンジにも思えました。

三日間の大会がどれほど祝福されたかを感じさせられる出来事が、最後の宿泊施設の責任者のあいさつにありました。毎年、この研修施設に世界中の人が来て、日本各地に送り出されて行くそうですが、一瞬耳を疑いましたが「ぜひ、その方々を覚えて、皆様の教会で導いてください。」とおっしゃられたのです！聖霊に満たされる理由は、出て行ってイエス・キリストの福音を宣べ伝えるため。各地域教会の働きがますます祝福されますように。

大会委員長 小山英児

単ペン大会に参加して

木幡キリスト福音教会 中坊洋子



今回の単ペン大会は、「横浜である！」と聞いた時から、「わぁ～横浜。いいなあー」と単純な私でした。さて、交通手段は何？…結局は昔懐かしいバス旅行と相成りました。そして、初日の夕食に何とか間に合いました。

テーマは、「和」。素敵な字と意味ですよ！講師は、TPKF の親しい先生方でしたが、それぞれに素晴らしく語って下さいました。声をお聞きしているだけで癒されたり、救いの証に感動したり、主に在って一つとなり、未来に向かっての福音宣教の大切さを覚えました。

フリータイムの時間、私たち夫婦は「横浜歴史探訪のコース」を選びました。その前に、中華街での美味しいランチを堪能した後は、ガイドの小山英児先生のお話を耳を傾け、巡りました。特に印象に残ったのは、横浜海岸教会でし



横浜海岸教会

た。特別に会堂に入らせていただき、その長い歴史と初期の宣教師の熱き宣教の思いに、心がいっぱいになりました。

様々な交渉や企画、全てのお世話をしてくださった先生方に心より感謝致します。

「キッズプログラム」を終えて

町田純福音教会 廣瀬礼子



横浜での単ペン大会が終わりました。今回はオペレーションセーフのトラウマケア、「ピーちゃんの冒険」を、5日間で行うところ3日間で、5回シリーズにして行いました。皇帝ペンギンピーちゃんと登場する仲間たちを通して、神さまは一人一人のお友達を決してひとりぼっちにしないこと、大切にしてくれて愛してくれること、安心なお方であること、このお方についていけばいいんだ、ということをお伝えされました。参加するお友達一人一人、回を重ねていくうちにピーちゃんや登場する仲間たちと同じ気持ちになったり、同じ気付きをもったり、心揺れたりしたことと思います。そして、最後にはみことばに心から安心し、主の愛をいっぱい感じて、主と一緒に帰宅して行きました。「主は、ご自分の羽で、あなたをおおわれる。あなたは、その翼の下に身を避ける。主の真実は、大盾であり、とりでである。」主をほめたたえます。

TPKF大会証し

聖霊のバプテスマ

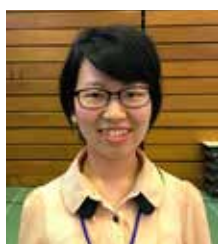
岐阜純福音教会 田口真望



単ペン大会の2日目、夜の聖会の最後に聖霊のバプテスマの招きがありました。たくさんの方が前に出て聖霊を体験しました。しかし、僕は聖霊を体験できませんでした。聖会の後、1人で考えていました。「信仰が足りていないのかな。」そこで、近くの牧師先生に尋ねました。「僕は信仰が足りていない気がします。」その返事は僕が考えていないものでした。「信仰は天から来るものだから、自分に足りないのは当たり前だよ。」それを聞いたとき、肩の荷が降りた気分でした。そこで、信仰の先輩方に聖霊のバプテスマを受けたいと話しました。牧師先生も呼んで、4人に異言で祈ってもらいました。先生の導きに従いながら祈る中で、気がつくと思いの意思とは違う言葉で祈っていました。その時、本当に満ち足りた気分になりました。聖霊を授かった。その実感が確かにありました。僕のために祈って下さった皆さんと、与えてくださった主に心から感謝しています。

聖霊のバプテスマを求めて

小松ベタニヤ福音教会 田中 恵



5月3日～5日に横浜で単ペン大会が開かれました。私は横浜には初めて行くので、とても楽しみにしていました。すると、主は私の期待をはるかに越えたものを下さいました。それは、二日目の夜の聖会の時に、小山先生の聖霊のバプテスマの促しで前に出て行った時でした。初めは祈っていましたが、途中で手足が震え出してきて、涙も流れてきて、いつの間にか異言が溢れ出てきて止まりませんでした。そして、これが、聖霊に満たされる事なんだなと思いました。今まで、私は色々な聖会や教会の集会に参加してきましたが、周りに人が、聖霊に満たされ異言を話していても、私自身はまだ受けたことがありませんでしたが、しかし、今回聖霊のバプテスマの体験によって、本当に聖霊様は生きて働いておられることが実感できました。これからも、日々祈り、聖霊様と、もっと親しい関係を築いていきたいです。

一番大切なこと

深草キリスト福音教会 山口琴美



私が初めて単ペン大会に参加した5年前は、教職者大会というイメージでした。その大会で、御言葉に励まされ、悩んでいた道に一步踏み出す勇気を与えられたことは感謝でした。50周年を境に3世代での集まりとなり、毎年多くの兄弟姉妹と共に主に賛美し、祈り、聖霊様が働かれる集会に参加できることを楽しみにしています。今回は‘和’がテーマであり、『ペンテコステの日になって、みな一つ所に集まっていた。』という御言葉の通り、世代を超えてみな心が一つにされた集会でした。私は集会の中で、一番大切なのは‘主を愛すること’という言葉が心に残りました。日々様々な状況の中で何かすることに必死になってしまうことが多くあります。そんな私に御言葉を通して語り、何が必要かを教えてくださいました。これからも御言葉の土台に立ち、主を愛し、主と共に歩んでいきたい!!とまた思いを新たにされました。神に信頼する者は失望させられることがない!! ハレルヤ!!

教えられたこと

金沢フィラデルフィヤ教会 平岡花子



昨年の5月から金沢フィラデルフィヤ教会に通い始めた私にとって、初めての単ペン大会参加でした。各ワークショップの方々の力強い演奏、リードにより心から主を見上げ賛美することができました。また、3日間のうちメッセージしてくださいました3人の先生のお話はわかりやすく、私達には主がともにいらっしゃることを強く感じました。特に置田先生のメッセージは、今問題を抱えている私にとって、大きな励ましになりました。「人の目には小さい問題でも自分にとっては大きな問題もある」、「問題があれば祈りはシンプルなものになる」、「シンプルな祈りでも人の目を気にしない」。苦しいとき、つい心が折れて祈れないと思ってしまう私ですが、苦しいときだからこそ主に祈ろうと思いました。また、最後になりましたが、2日目の観光の際、中華街・元町の案内のお手伝いをさせていただきました。楽しかったと声をかけてくださった皆様に感謝です。

TPKF 全国各地の情報・報告

〈イースト〉 Neg ワーカーズ食卓について



私たち、TPKF イーストでは、不定期ではありますが時々 Neg メンバーズと OB 及び家族の皆さんで食卓をしています。その時その時で、メニューを決めて集まり、料理し、交わりの時を持っているのです。この会の目的は、なにより日頃なかなか一堂に会することのできない牧師婦人やご家族とともに過ごし、交わることで、Neg メンバーズの団結を図り、更に未来を見据えて、働きの中で何か問題等が起こったときにも、速やかにともに分かち合い、祈りあい、支えあいたいと願うことにあります。まあ、という大義名分の元、ただ美味しいものが食べたいのではないかとする若干の疑惑を含みつつ、大変楽しい時を過ごしております。食事をしながら、色々な話に時間が経つのがあっという間で、いつも気がつくとかかなり遅い時間となり、びっくりしています。でも、この会のおかげで本当に目に見えて、Neg メンバーの結束は強くなったと実感しております。

(金沢フィラデルフィヤ教会 宮崎一実)

〈キリスト福音〉 香港短期宣教チーム

アジア・アウトリーチ・ジャパン (AOJ) が短期宣教旅行を企画し、小学生 2 名、乳児 1 名を含む 10 名が 3 月 30 日から 6 日間香港で仕えました。AO 香港の創設 50 周年祝賀会でのお祝いを込めたキッズダンス、賛美の他、山の頂上でとりなして祈り、幼児と親と老人が交流する会に参加し、香港中心部すぐ裏でされているアート教室では、子どもたちに折り紙を教え、考えられない狭さのお宅を拝見し、夜の繁華街では、ホームレス、マフィアや麻薬中毒者、売春婦を間近に見て祈られ、日本人への宣教に情熱を持つ教会に感動する中身のぎっしり詰まった旅となりました。参加者は「家が狭いという不平はやめます」「イエス様を友達に伝えたい」など、クリスチャンとしても価値観が刷新される旅となりました。



た。貯金をはたいて参加した小学生があり、夫、わが子にも体験してほしいという願いが起こされ、ぜひ、毎年開催できる短期宣教旅行となればと期待しています。

(守山キリスト福音教会 上田勇矢)

〈FCMF〉 祝福された春の聖会



FCMF 北陸地区「春の聖会」が、4 月 29 日(祝日) 福井県産業情報センターで開かれました。

テーマは「御霊に導かれて進もう」(ガラ 5:25) で、講師

として岐阜純福音教会牧師の小山大三先生(写真)ご夫妻をお招きしました。以前から、私を含め諸教会の兄弟姉妹が聖霊の人格と働きについて更に深く知ることができたら、という願いがありました。今回の聖会を通して、主はその祈りと願いに答えて下さったように思います。先生は午前の集会ではイザヤ書 12 章から、午後はヨハネの福音書 14 章を中心に五つのポイントを挙げて説き明かして下さいました。聖霊のご臨在の中で皆が、先生の聖霊体験を交えて話される御言葉がよく理解できたのではないのでしょうか。説教に続くミニストリーでは、歩行に不住を感じておられたご婦人の方が顕著な主の癒しを体験されました。ハレルヤ! 大人 110 名の他にコースや子どもたちの参加もあり、共に御名を誉め称えました。(福井自由キリスト教会 川瀬清文)

関西聖書学院 宣教ウィーク

6 月末現在、36 名の学生は宣教ウィークのため各地に散って奉仕中です。今年は大半のチームが熊本の復興ボランティアを志願し、後は徳島、沖縄に出かけました。

この学院で奉仕する特権と感謝は深まっています。次世代を担う彼らと一緒に日本の福音化を夢み、やがて日本が世界の祝福となれるように、戦後多くの宣教師によって助けられてきた私たちが今度は宣教の歴史の最終ランナーとなって最後の一部族を目指して走っていくのです。かつての宣教地が続々立ち上がっています。韓国、中国、フィリピン、シンガポール……。やがてそこに日本が加わります。そのための鍵は「信徒が力を発揮して立ち上がる」ことです。伝道や教会の運営のために教職者と一緒に汗と涙を流してください。御国が到来します。祈りが聞かれます。証しが人々に届き始めます。私たちの周りに福音が広がっていきます。KBI では学生とその夢を追いかけしています。ハレルヤ。(学院長 大田裕作)

TPKF三役より

第53回TPKF大会に関西、北陸、中部の各遠方からゴールデンウィークにもかかわらずご出席頂き心より感謝致します。イーストの諸教会一同大きな励ましを頂くことができました。同じ会場での聖会、食事、宿泊ができてよかったとの感想をいただいています。

各聖会で賛美リードされた若い方々の姿に将来のTPKFの姿を見せられ感謝でした。2日目の夜の聖会後に聖霊のバプテスマを求め、若い方々が祈っておられたことを聞き、主の励ましを感じました。

これからも各地区の諸教会が励まされて行くTPKF大会となることを願っています。 TPKF 議長 中見透

ハレルヤ！岐阜純福音教会からは、美濃グレースチャーチの辛師家族を含めて16名が参加しました。行きも帰りも、車窓から富士山がはっきりと見え、まずその雄大な風景に一同圧倒され、心癒されました。しかも大した渋滞はなく、往復のドライブと車中の交わりを楽しむことができました。イーストの皆さんの温かい歓迎と、細やかなご接待と、午後の自由時間のための心配りに感心させられました。5月3日の夜に、中見師のメッセージから、一つになって祈ることを教えられ、5日の午前には、置田師から一緒に集まり祈るだけでなく、伝道のために頭をもっと用い、人とのコミュニケーションを普段から取るようにと教えられました。私は、4日の夜に「宣教の力、聖霊の満ちし」のテーマで語らせていただきました。 TPKF 副議長 小山大三

「すばらしい絆」

第53回単立ペンテコステ教会フェローシップ横浜大会に参加できたことを感謝いたします！大会に参加する時、私はいつも大切なメッセージを預かります。すでに現役を引退された牧師夫妻から、友人である別の牧師夫妻への「よろしく」です。今回も無事に届けることができました。地元へ帰

ってから、「よろしく」を喜んで受け取ってくださったこと伝えると、託された方もとてもうれしそうでした。単立ペンテコステ教会フェローシップには活きた温かい交わり、すばらしい絆があります。大会に参加された方だけでなく、いろいろ都合で参加できなかった方々にも祝福が広がっていることを体験しました。TPKF イーストの方々のご奉仕をありがとうございました！ TPKF 書記 置田信也



横浜海岸教会祈念碑



横浜歴史探訪コース参加者

熊本地震被災地支援について

6月24日～27日イーストより2名がボランティアに参加してきました。7月19日～22日には三役が被災地の諸教会の訪問視察です。現在、支援金は各教会より80万円が捧げられています。ご協力をご感謝致します。

■お詫びと訂正

ペンテコステ誌121号4ページ「証し」の寺戸敏安兄の所属教会は金沢フィラデルフィヤ教会ではなく、大佐和キリスト教会でした。

同6ページ「教会情報」で神戸フィラデルフィヤ教会に着任された金起賢師のお名前が誤ってキム・ヒョンとなっておりますが、正しくはキム・キヒョンでした。

訂正してお詫びいたします。 ペンテコステ誌編集部

単立ペンテコステ教会諸教会（名簿順）

北広島自由キリスト教会／房総中央キリスト教会／大佐和キリスト教会／町田純福音教会／鶴見純福音教会／横浜フィラデルフィヤ教会
磯子フィラデルフィヤ教会／金沢フィラデルフィヤ教会／横須賀クリスチャンセンター／保土ヶ谷純福音教会神の愛チャペル
大和あがないの丘キリスト教会／戸塚カルバリ純福音教会／栄シャローム福音教会／伊勢原聖書キリスト教会／秦野クリスチャンセンター
北アルプスグローバルチャーチ白馬キリスト福音センター／南アルプスグローバルチャーチ小笠原純福音教会／甲府カルバリ純福音教会
富士吉田純福音キリスト教会／ハーベスト・チャーチ山梨／裾野純福音キリスト教会／御殿場純福音キリスト教会
富士純福音キリスト教会グレースチャーチ／小松ベタニヤ福音教会／小松南部キリスト教会／ホープハウス／福井自由キリスト教会
文教ゴスペルセンター／松岡福音教会／丸岡福音キリスト教会／勝山自由キリスト教会／三国自由キリスト教会／敦賀自由キリスト教会
武生自由キリスト教会／金津福音キリスト教会／小浜キリスト福音教会／小浜キリスト福音教会三方伝道所／高富グレイスチャペル
岐阜純福音教会／岐阜純福音白鳥教会／岐阜純福音大森チャーチ／大垣インターナショナル・フルゴスペルチャーチ／岐阜ライフチャーチ
美濃グレースチャーチ／岐阜中央チャペル／本地が原自由キリスト教会／瀬戸サレム教会／滋賀キリスト福音教会／守山キリスト福音教会
大津韓国福音教会／大津キリスト福音教会／田上キリスト教会（大津キリスト福音教会伝道所）／甲賀キリスト福音教会／水口キリスト福音教会
甲西キリスト福音教会／雲井キリスト福音教会／米原キリスト福音教会／綾部キリスト福音教会／亀岡ベタニヤ教会
京都キリスト福音教会／山科キリスト福音教会／深草キリスト福音教会／宇治キリストペンテコステ教会／木幡キリスト福音教会
大阪キリスト福音教会／須磨自由キリスト教会／神戸フィラデルフィヤ教会／南さつまキリスト福音教会

以上の教会に1部以上を送っています。私たちの願いはすべてのTPKFの信徒が一部ずつ持つことです。

ご意見、ご感想は次のメールアドレスをお願いします。tpkf.pentecost@gmail.com TPKFの公式ホームページ <http://www.tpkf.org/>

